

2005 年 8 月 23 日

日本 OSS 推進フォーラム

独立行政法人情報処理推進機構

「2005 年度日本 OSS 貢献者賞」の受賞者を選定

日本 OSS 推進フォーラム(代表幹事:桑原洋 / 株式会社日立製作所取締役)及び独立行政法人情報処理推進機構(略称:IPA、理事長:藤原武平太)は、このたび、優れたオープンソースソフトウェア(以下、OSS と略)の開発者を表彰する「2005 年度日本 OSS 貢献者賞」の受賞者を選定いたしました。

「2005 年度日本 OSS 貢献者賞」は、日本における OSS 開発の振興を図ることを目的に、影響力のある開発プロジェクトを創造、運営した開発者やグローバルプロジェクトにおいて活躍する卓越した開発者を表彰するもので、今年度より創設した制度です。

「2005 年度日本 OSS 貢献者賞」の受賞者(4 名、五十音順)

- ・ 鷓飼 文敏(うかい ふみとし)氏: Debian Project の主要メンバー
- ・ 高橋 浩和(たかはし ひろかず)氏: Linux Kernel 開発への参画
- ・ 高林 哲(たかばやし さとる)氏: Namazu, quickml, gonzui の開発/プロジェクト運営
- ・ まつもと ゆきひろ氏: Ruby の開発/プロジェクト運営

(受賞者の功績の詳細は別紙 1 をご参照ください)

選定方法

Web 等を用いて広く推薦を受けた候補者(計 39 名)の中から、審査委員会(委員長:徳田英幸 慶応義塾大学教授)、実行委員会(委員長:山田伸一、日本 OSS 推進フォーラムステアリング・コミッティ座長、NTT データ執行役員)の審査によって受賞者を決定しました。

(実行委員会、審査委員会の名簿は別紙 2 をご参照ください)

表彰式

本日(8 月 23 日)に秋葉原コンベンションホールにて表彰式を行いました。また、受賞者は、中国で今秋開催予定の第 4 回北東アジア OSS 推進フォーラムにおいて、日本のほか、中国・韓国がそれぞれ企画、実施した表彰の受賞者と共に表彰される予定です。

「日本 OSS 推進フォーラム」について

「日本 OSS 推進フォーラム」は、国内情報システムのベンダ、ユーザ、学識経験者などが参加し、自由な立場から議論を重ねながら、OSS 活用上の課題解決に向けて取り組んでいます。具体的な活動は、課題ごとにワーキング・グループを設置して実施しています。

<http://www.ipa.go.jp/software/open/forum/>

「北東アジア OSS 推進フォーラム」について

「北東アジア OSS 推進フォーラム」は、「日本 OSS 推進フォーラム」、「中国 OSS 推進連盟」、「韓国 OSS 推進フォーラム」により構成され、日本、中国、韓国の民間企業、研究教育機関などが、OSS 推進に向けた連携体制を築き、共同プロジェクトの企画、推進を行っています。

<http://www.ipa.go.jp/software/open/forum/NEAforum.html>

本件に関するお問い合わせ先：

独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェア開発支援部 堀江・若林

Tel : 03-5978-7504 Fax : 03-5978-7514 E-mail : open-info@ipa.go.jp

(報道関係からのお問い合わせ先)

独立行政法人情報処理推進機構戦略企画部広報グループ 横山・岡田・佐々木

Tel : 03-5978-7503 Fax : 03-5978-7510 E-mail : ipa-pr@ipa.go.jp

受賞内容の詳細

鵜飼 文敏（うかい ふみとし）氏

鵜飼氏は世界最大のコミュニティベースの Linux ディストリビューション「Debian Project」の日本における主要メンバーであり、その成果は DebianProject の本体にも取り込まれている。Debian 用の Hotplug やテキストブラウザ「w3m」など、多くの OSS プロジェクトに参加し、OSS の品質向上や機能改善にも広く貢献しており、鵜飼氏の恩恵を受けた OSS プロジェクトは数知れない。

また、FSIJ、日本 Linux 協会において中心的な役割を果たし、日本における Linux および OSS 普及に対しても、長年にわたり多大な貢献を行ってきた。

高橋 浩和（たかはし ひろかず）氏

高橋氏は高速ネットワークファイルシステム開発をはじめとし、Linux カーネルの様々な機能強化に努めている。また、これらカーネル技術を基にした障害解析サービス、コンサルティングなどの OSS ビジネスを立ち上げたことも、日本の OSS における功績として高く評価できる。また、高橋氏はカーネル開発の方向性に大きな影響を与える重要な世界的な会議 Linux Kernel Summit に日本から初めて招待されるなど、Linux 開発コミュニティからも認められている。

高林 哲（たかばやし さとる）氏

高林氏は全文検索エンジン「Namazu」をはじめ、手軽にメーリングリストを作成できるメーリングリストシステム「quickml」、ソースコード検索エンジン「gonzui」等、数々のソフトウェアを開発し OSS として公開している。

「Namazu」は中央官庁、企業など、多くのホームページ上の検索機能として活用されており、現在日本で最も普及している日本語全文検索エンジンのひとつといえる。また「quickml」、「gonzui」はどちらも着想力に秀でたソフトウェアであり、高林氏のクリエイターとしての取り組みは OSS コミュニティに多大な影響を与えている。

まつもと ゆきひろ氏

まつもと氏は独自のプログラミング言語「Ruby」を開発した。「Ruby」はその機能の多様性、間口の広さから初心者から上級者までがその目的を遂げるに十分な機能を有するプログラミング言語である。その利用用途はごく小さな個人用のプログラムや Web ページの作成など多岐にわたる。海外での普及も進んでおり、アメリカでも毎年カンファレンスが開かれている。

まつもと氏は「Ruby」言語の開発環境を整備し、Ruby 上の数多くの OSS 開発を促進し、グローバルな OSS コミュニティの形成と OSS 開発者の育成に多大な貢献があった。日本の OSS 開発の第一人者として誰もが認める存在である。

（50 音順）

日本 OSS 貢献者賞：実行委員会名簿、審査委員会名簿

実行委員会(6名)

役職	氏名	所属	備考
委員長	山田 伸一	株式会社 NTT データ 執行役員	日本 OSS 推進フォーラム座長
副委員長	前田 青也	株式会社グッデイ 代表取締役	
実行委員	秋間 升	独立行政法人 情報処理推進機構 参事	
実行委員	竹川 直秀	NTT コムウェア株式会社 担当部長	人材育成 WG 主査
実行委員	比屋根 一雄	株式会社三菱総合研究所主席研究員	
実行委員	吉岡 弘隆	ミラクル・リナックス株式会社取締役	

(50 音順)

審査委員会(10名)

役職	氏名	所属
審査委員長	徳田英幸	慶應義塾大学 政策・メディア研究科 委員長 環境情報学部 教授
審査委員	石井達夫	(株)SRA 開発サービスカンパニー OSS ビジネスプロジェクト長 (PostgreSQL 開発者)
審査委員	鈴木友峰	株式会社日立製作所 OSS テクノロジセンタ 担当部長
審査委員	竹村治雄	大阪大学 サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門 教授
審査委員	田代秀一	独立行政法人 産業技術総合研究所 情報技術研究部門 主任研究員
審査委員	中原道紀	日本アイ・ビー・エム株式会社 先進システム事業部部長
審査委員	樋口貴章	サン・マイクロシステムズ株式会社 カスタム/インダストリー-リレーション推進室 専任部長 (日本 Linux 協会 事務局長)
審査委員	堀健一	日本電気株式会社 Linux 推進センター長
審査委員	三浦広志	株式会社 NTT データ オープンソース開発センタ シニアエキスパート (東北 Linux ユーザー連合会運営委員)
審査委員	吉田正敏	富士通株式会社 Linux ソフトウェア開発統括部 部長

(50 音順)